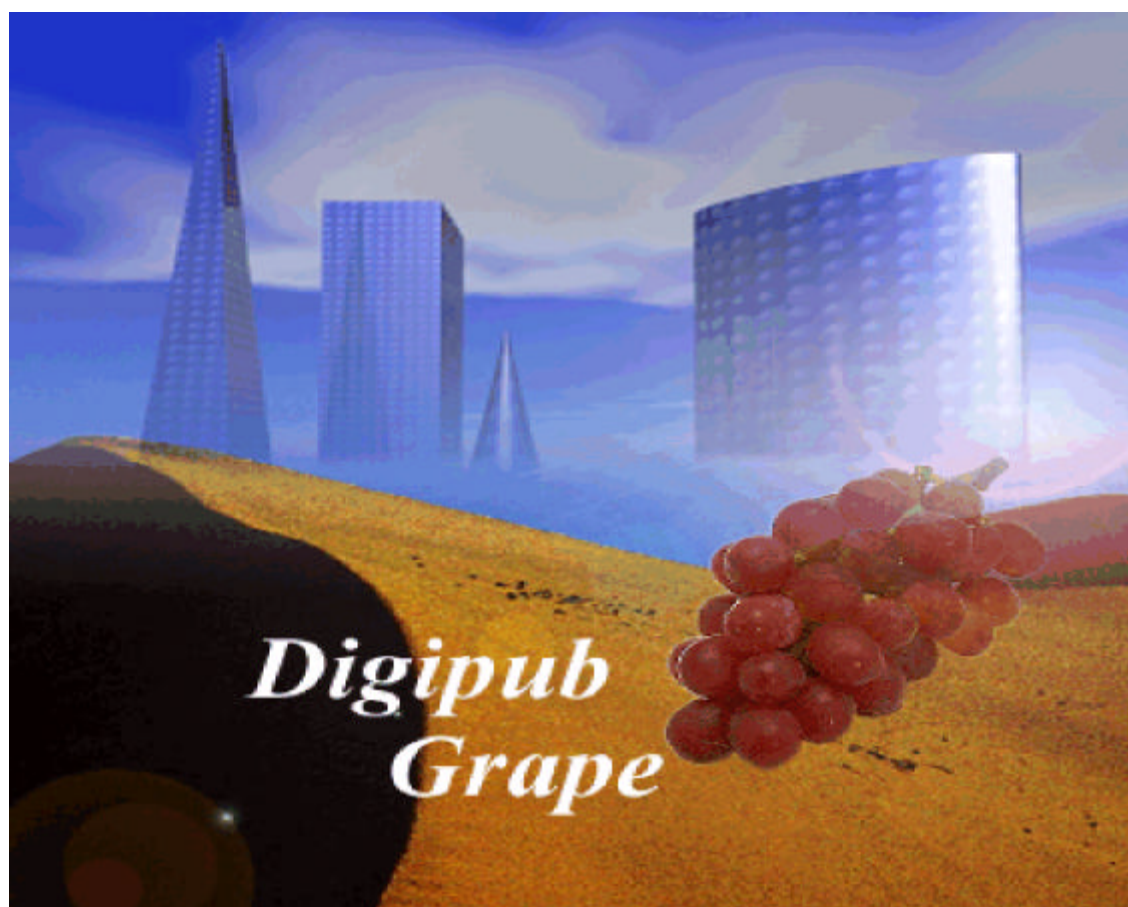


Grape ユーザーズマニュアル

Version 0.9



目次

1	Grape とは	5
1.1	Grape とは	7
1.1.1	概要	8
2	Grape の起動	8
2.1	初期画面	9
2.2	メインメニューの選択	10
2.3	ツールバー	11
2.3.1	概要	12
3	書庫	12
3.1	書庫	13
3.1.1	書庫の概要	14
4	表示	17
4.1	表示	19
4.1.1	概要	20
5	分析	21
5.1	分析	25
5.1.1	概要	26
6	ログ	26
6.1	ログ	29
6.1.1	概要	30
7	マスター管理	31
7.1	マスター管理	33
7.1.1	概要	34
8	補足 (Access 97 を使用する場合)	35
8.1	Access97 用の設定方法	37
8.1.1	BDE の起動	38
8.1.2	ドライバの選択	38

8.1.3	Native ドライバの選択	39
8.1.4	MSACCESS ドライバの選択	39
9	その他	39
9.1	その他	41
9.1.1	注意事項	42
9.1.2	更新履歴	42

目 次

1.1	概要	8
2.1		10
2.2	メインメニューの選択	11
2.3	概要	12
3.1	書庫の概要	15
3.2	日付時間順	15
3.3	タイトル順	16
3.4	目的別	16
3.5	グループ別	17
3.6	アクセス数順	18
3.7	アドレス順	18
4.1	書庫から選択	20
4.2	ホームページを表示	21
4.3	書庫へ切り替え	22
4.4	アクセス数順から選択	22
4.5	アクセス数順から選択して表示	23
5.1	頻度分析	27
5.2	曜日別アクセス	27
5.3	日付別アクセス時間	28
5.4	ユーザ別アクセス数	28
6.1	概要	30
6.2	ログのオン・オフ	31
6.3	ログリストからのアクセス	32
7.1	概要	34
7.2	書庫	35
7.3	巡回	36
7.4	転送用	36
8.1	BDE の起動	38
8.2	ドライバの選択	39
8.3	Native ドライバの選択	40
8.4	MSACCESS ドライバの選択	40

第 1 章

Grape とは

1.1 Grapeとは

1.1.1 概要

DigiPub Grapeは通常のブラウザにデータベース機能を付加したブラウザです。

またDigiPub Grapeは、いわゆる「お気に入り」サイトを様々な観点から分類整理し、即座にアクセスしたいホームページなどを検索することができます。

DigiPub Grapeは、Paradoxのファイル形式を標準としていますが、Microsoft Accessのファイル形式にも対応しています。したがって、ユーザが独自に加工することも簡単にできます。

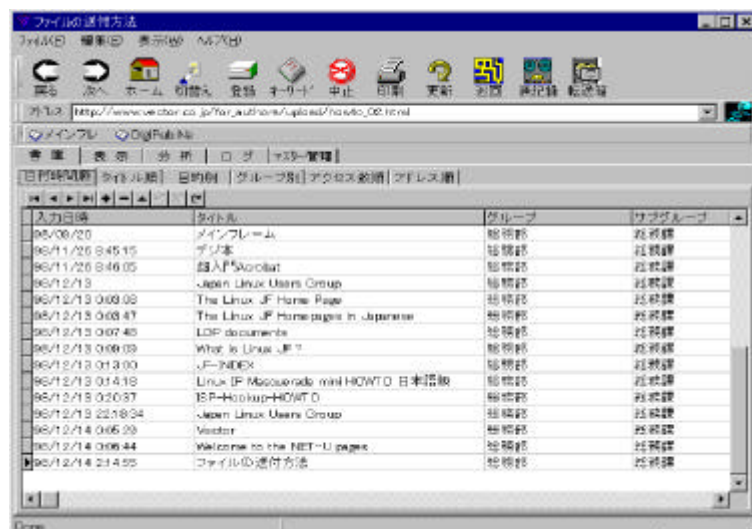


図 1.1: 概要

動作環境

DigiPub GrapeはWindows98上で動作します（但し、インターネット・エクスプローラ4.0をインストールしているWindows95上でも稼働します）また、Microsoft Accessのファイルを作成する場合には、インストールしたマシンにAccessがインストール済みであることが必要です。

著作権

本ソフトの現バージョンは、フリーソフトです。但し著作権は放棄していません。また今後のバージョンについては、同様にフリーソフトとするかは未定です。

第 2 章

*Grape*の起動

2.1 初期画面

Grape は、通常のブラウザソフトと異なり、「お気に入り」サイトに関するデータを独立したデータベースで管理します。このデータベースは、Grape 自体に組み込まれている Paradox 互換のもののほか、Access や Oracle などのデータベースを利用することができます。

無償版 Grape に同梱されているサンプルファイルには、Paradox ファイルのものと Access ファイルのものがあります。

Grape を利用可能な状態にするには、まずこのデータベースファイルを指定する必要があります。

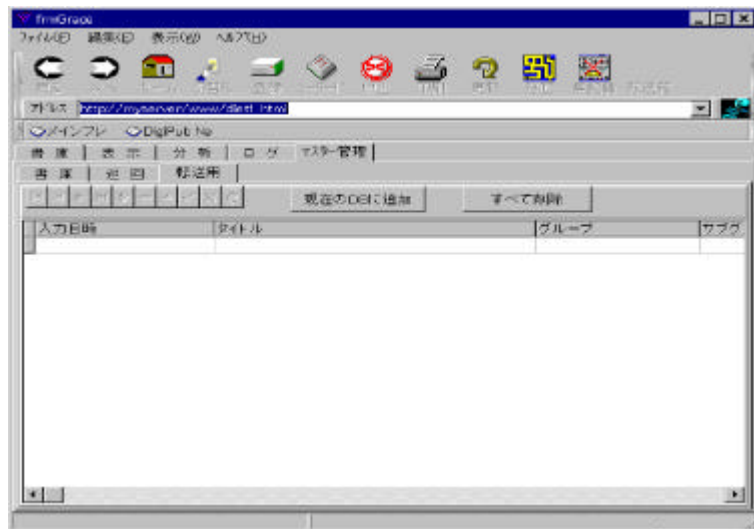


図 2.1:

2.2 メインメニューの選択

データベースファイルを開くには、メインメニューの [ファイル] から [データベースを開く] を選択し、samples ディレクトリ内の”access04.db”を指定します。

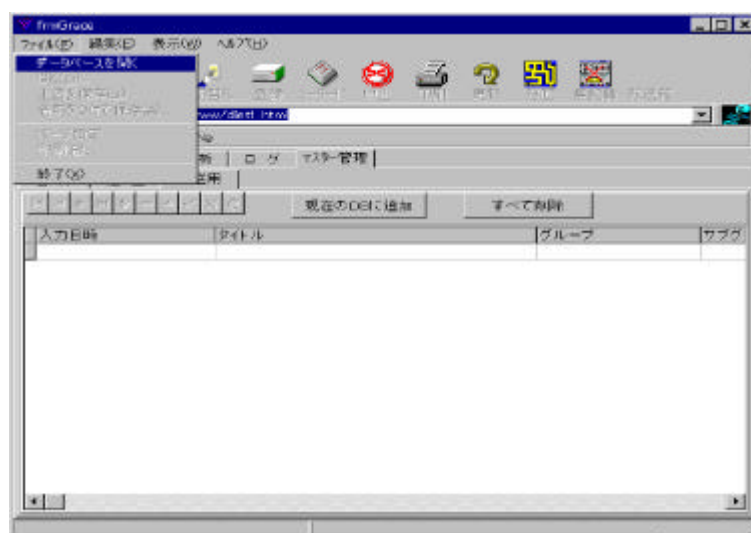


図 2.2: メインメニューの選択

2.3 ツールバー

2.3.1 概要

Grapeの上段には、通常のブラウザと同様のツールバーがあります。ただし、Grapeに固有なボタンもあります。以下のボタンは、Grape固有のものであります。

- 切替え 書庫ページと表示ページの切替えを行います。
- 登録 現在表示しているホームページを前回使用したキーワードで登録します。
- キーワード 現在表示しているホームページをキーワードを指定して登録します。
- 巡回 自動巡回を開始します。
- 記録 アクセスするホームページのアドレスすべてをログに記録するか否かのスイッチです。
- 転送箱 Grapeは、その時々で書庫データベースを変更して使用することができます。このボタンをクリックすると現在利用しているデータベースとは別の一時データベースにアドレスなどが保存されます。そして他のデータベースを開いた時に、この一時データベースを利用して、一部の情報を転送することができます。



図 2.3: 概要

第 3 章

書庫

3.1 書庫

3.1.1 書庫の概要

データベースを選択すると、書庫の内容が表示されます。書庫とは、Microsoft Explorer における「お気に入り」のことであり、Netscape Navigator における「ブックマーク」と同様のものです。ただし、Grape の場合は、このデータを Paradox、Access、Interbase、Oracle、MSSQL、Sybase、Infomix といった既存のデータベースによって管理しているところが決定的に異なります。

したがって、こうしたデータはローカルに、あるいはネットワーク上に複数存在させることが可能になります。このことにより従来データベースというホームページを作成し情報を発信している側、あるいは発信者側と受信者側の間に介在する Yahoo などの検索サービスが中心でしたが、Grape は純粋に「受信者側」にインテリジェントなデータベースを作成することを可能にするものです。

さて、書庫についてですが、Grape の書庫は登録された段階ですぐに分類整理されます。Grape では、

- 日付時間順
- タイトル順
- 目的別
- グループ別
- アクセス数順
- アドレス順

という 6 つの観点から分類され、それぞれ一覧が表示されます。各一覧を表示する方法は、上段のタブをクリックし、個々のページを表示することにより行います。

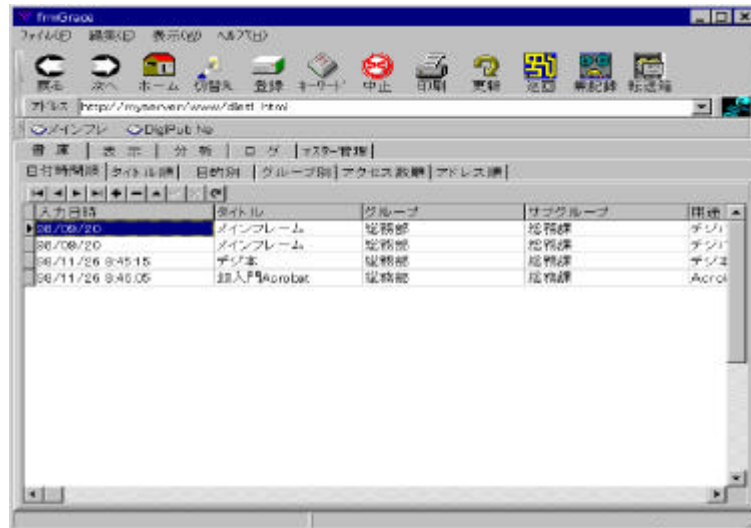


図 3.1: 書庫の概要

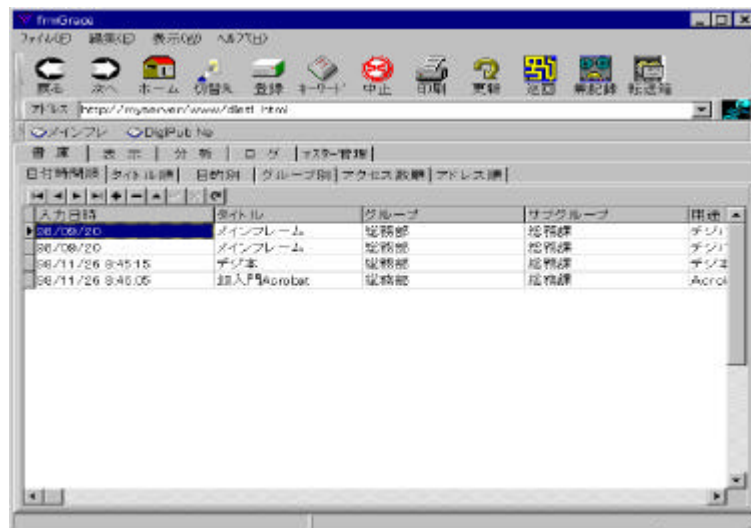


図 3.2: 日付時間順

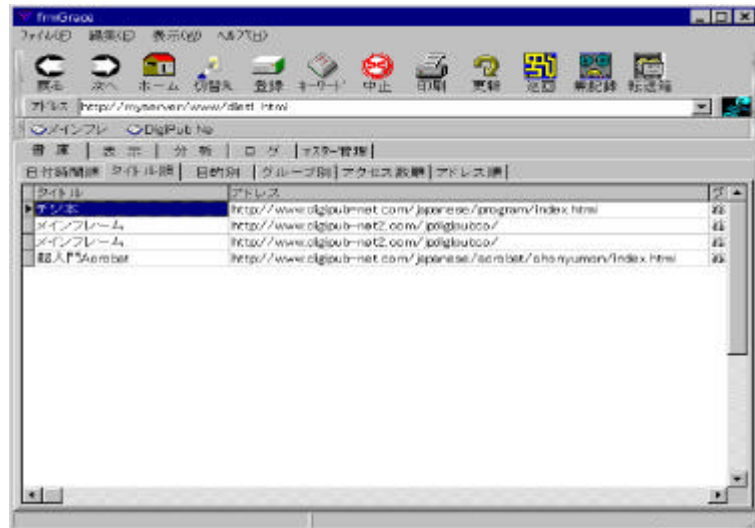


図 3.3: タイトル順

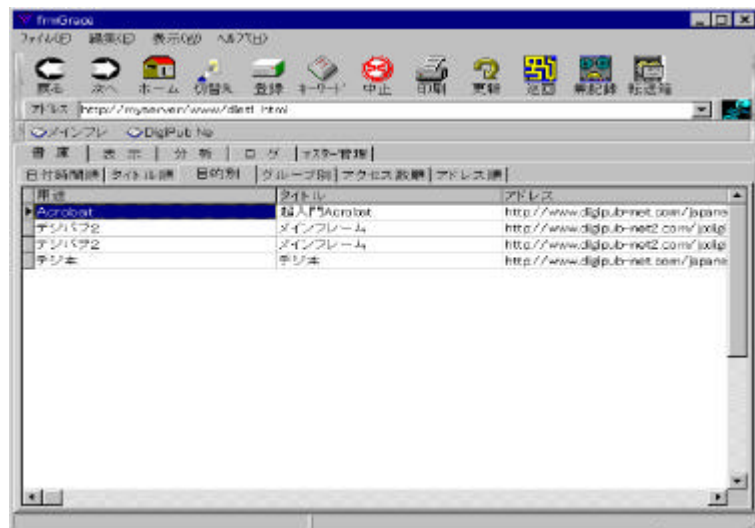


図 3.4: 目的別

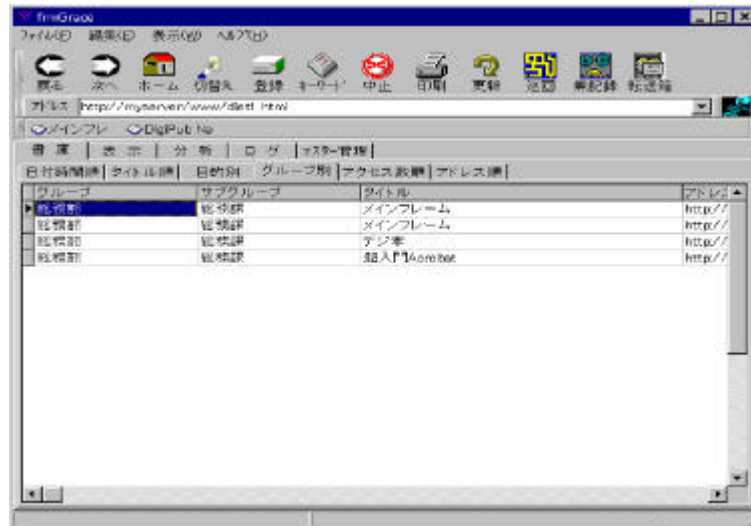


図 3.5: グループ別

日付時間順

タイトル順

目的別

グループ別

アクセス数順

アドレス順

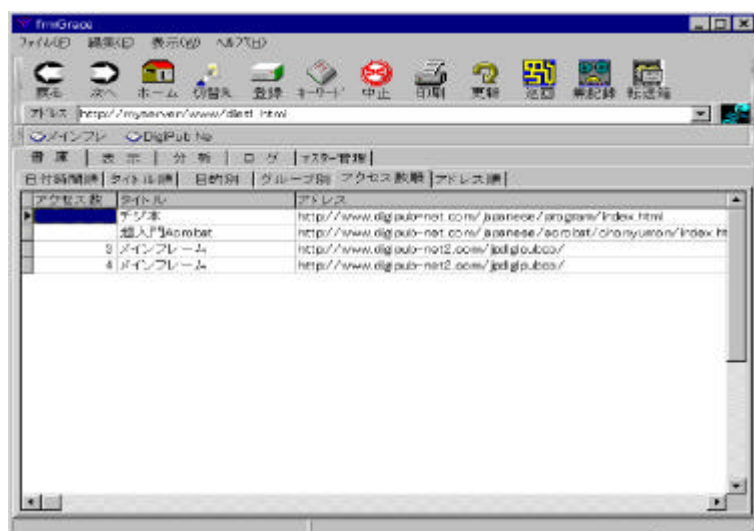


図 3.6: アクセス数順

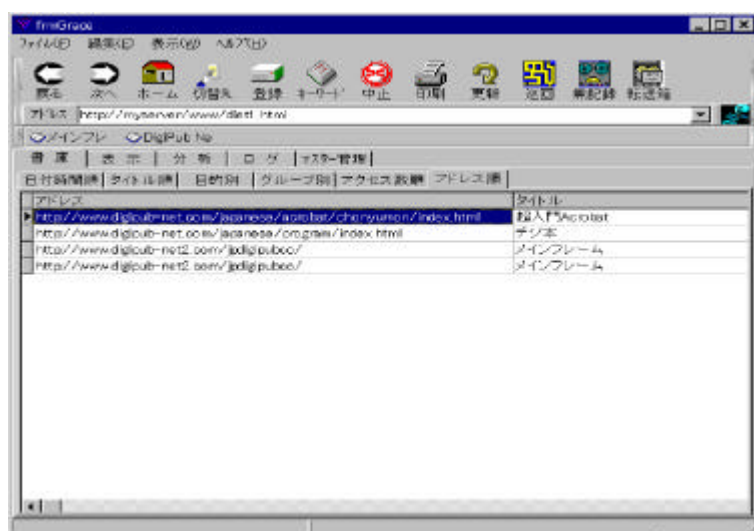


図 3.7: アドレス順

第 4 章

表示

4.1 表示

4.1.1 概要

それでは次にブラウジングの方法について説明します。サンプルデータベースには、すでにくつかの「お気に入り」サイトが登録されていますので、それを例にして解説します。

書庫から選択

まず、[書庫]の中の一つのページを開きます。ここでは[目的別]ページを開きます。すると一覧中の用途列の中に「Acrobat」と表示されている行が見つかります。これは、このサイトが Acrobat の関連の情報源として利用できるサイト(ホームページ)であることを示しています。

そこでこの行のどこかをクリックして選択し、さらにダブルクリックします。すると自動的にブラウザが起動し、そのホームページが表示されます。

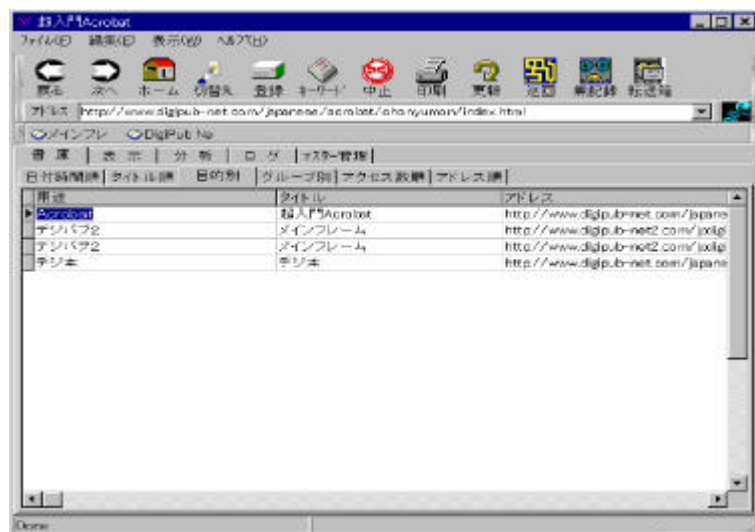


図 4.1: 書庫から選択

ホームページを表示

ブラウザが起動すると自動的に、[書庫]のページから[表示]のページに移行します。

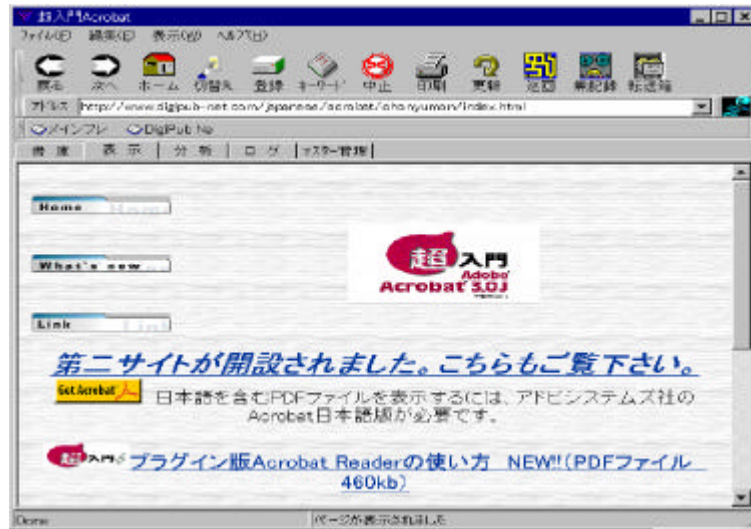


図 4.2: ホームページを表示

書庫へ切り替え

この「表示」ページから、「書庫」ページへ戻るには、上段の「切替え」ボタンをクリックします。

アクセス数順から選択

今度は、「書庫」ページの中の「アクセス数順」ページから選択してみましょう。一覧では、左端列にアクセス数が表示されています。ここでは一番アクセス数が多い行をクリックして選択してから、さらにダブルクリックしてみます。

アクセス数順から選択して表示

同様に「表示」ページに移行し、目的のホームページが表示されます。

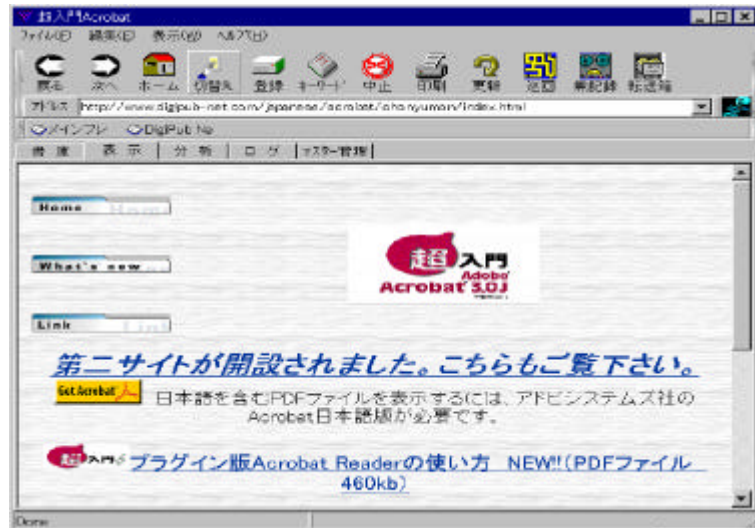


図 4.3: 書庫へ切り替え

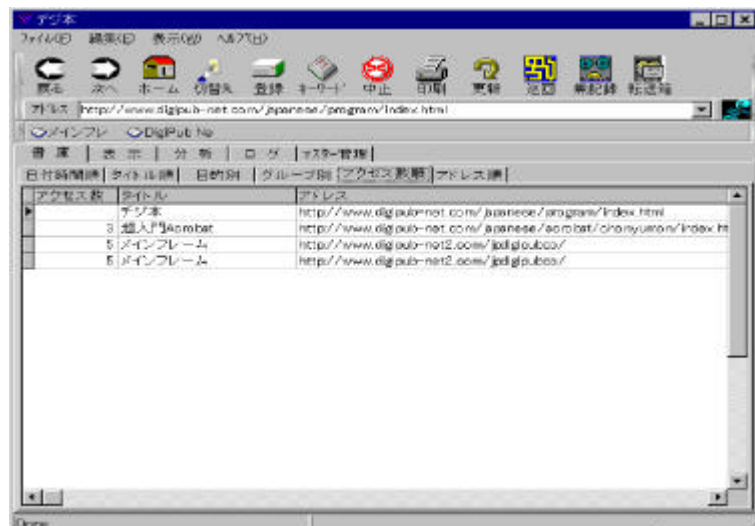


図 4.4: アクセス数順から選択

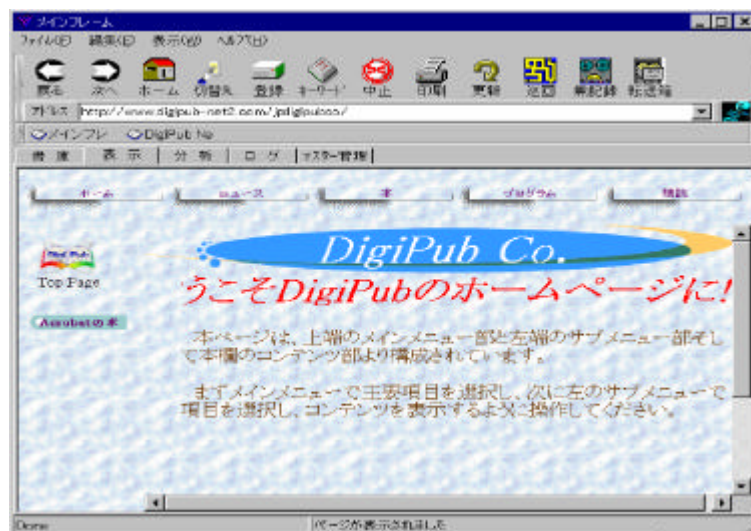


図 4.5: アクセス数順から選択して表示

